

映文連アワード2012文部科学大臣賞受賞

沖縄戦の記憶

私立積徳高等学校・看護学徒隊

ふじ学徒隊

F u j i S t u d e n t s

6/19
(日)

沖縄県立
博物館・美術館
美術館講座室



海燕社の小さな映画会 2016

日 時:2016/6/19(日)
場 所:沖縄県立博物館・美術館 美術館講座室(1F)
時 間:16:00開場、16:30開始(17:20終了)
※途中入場はできません。
料 金:1,000円(要予約)
※先着順、定員に達し次第、締め切らせていただきます。
電 話:098-850-8485(海燕社/カイエンシャ)

この作品は、16才の少女たちが生と死のはざまに生きた三ヶ月余の彼女たちの記憶の記録である。
少女たち一人一人を通して、生きるとは、死ぬとはどんなことを考える時、戦争がどんなに非情なものかが浮彫りになるであろう。

戦後の彼女たちは —
今は亡き愛する人々へ鎮魂の旅がはじまった。
そして、必死に生き抜いた。

【ふじ学徒隊について】

沖縄戦で動員された女子学徒隊は10校およそ500人。
激戦の本島南部では、ほとんどの学徒隊が半数近くの戦死者を出した。そんな中、わずか3名の戦死者にとどまったのが「ふじ学徒隊」である。1941年ヘチマ襟の制服を着た積徳高等女学校の1年生。しかし、彼女たちは一度も憧れのセーラー服を着ることはなかった…

【宮城鷹夫/映画「ふじ学徒隊」製作委員会代表】

この映画は、戦争のさなか暗い壕の中でごめく傷病兵の看護に当たった女子学生が、さまざまなできごとにぶつかりながら「死の教育」をくりぬけて、人間らしく生きていこうとする、歩みの記録である…軍隊という厳しい枠をこえた人間の優しさに気づけられて、ともすれば見失いがちな「生きる道」の意味を発見していく。言ってみれば、人間であることの普遍的なものへの覚醒の過程であろう。映画は、48分の短いフィルムながら「沖縄戦」を告発する内容が手際よく盛り込まれている…

Special thanks from Kaiensha inc. -----

「海燕社の小さな映画会 2016」へのご支援、ありがとうございました。

 **コープおきなわ**
〒901-2588 沖縄県浦添市西原1-2-1

沖縄の心を伝える **uchina** 絶賛発売中!
 **株式会社 沖縄教販**
〒900-0037 那覇市辻1丁目17番1号
TEL (098)868-4170 / FAX (098)861-5499

「NPO 法人沖縄戦記録フィルム1 フォート運動の会」DVD 取扱店
子どもを上げまし、子どもを育てる
 **学校用品株式会社**
沖縄県学校用品株式会社
TEL 098-867-3683

 **アップルフォトスタジオ**
根間 芳和
那覇市古波蔵213番地 TEL/FAX 098-855-5080